

Wind River Linux 4 Update Pack 3の新機能

開発の加速、パフォーマンスの向上、収益の増大を実現するイノベーション

Wind River Linux 4は、ウインドリバーの商用組込Linuxランタイム/開発プラットフォームの最新版です。Update Packごとに、新たな機能、操作性の改善、ハードウェアサポート、アドオン製品とのインテグレーションがコアプラットフォームに追加されます。Wind River Linux 4を使用しているお客様は、以下の新機能を利用できるように、この最新プラットフォームに移行することを強くおすすめします。

コアプラットフォームの強化

IPv6

ウインドリバーのIPv6スタックが、正式に「IPv6 Ready」認証を取得しました。

- 総所有コスト (TCO) と作業コストの削減、フラグメンテーションの低減
 - 適合性 (TAHI テスト環境) の達成。また、すべてのデイリービルドがテストされます。
- IPv6認証済みスタックを求めるお客様の要望に対応
- 共存ソリューションの提供 (IPv4からの移行には約10年かかる見通しなので重要)
- セットアップのヒントとテクニックを添付

仮想ルーティング/転送 (VRF : Virtual Routing and Forwarding)

Wind River Linuxは、次世代ルータ構築向けに実装が簡単で安価な、シンプルで洗練されたオープンソースソリューションを提供します。

- 統合による運用コストの削減
 - 1台のデバイス上にルーティングテーブルの複数のインスタンスを持つことが可能
 - 需要の増加に合わせて、別個のVPNを簡単に構築 (VLAN タギングの進化版)
 - 専用CPUが関連付けられ、Linux ユーザ空間を持つネットワークコンテナを利用して、100台以上のデバイスを1台に集約
- ネットワークエッジでのパケット処理を高速化
- シスコのVRF (仮想ルーティング/転送) の定義に準拠

コアテクノロジーのアップグレード

- KVM uprev
 - ハイパーバイザを使わずに、非対称型マルチプロセッシング (AMP) ソリューションをシミュレート
- QEMU uprev
 - ターゲットシステムを簡単にエミュレート。インテルアーキテクチャと ARM Cortex-A9 に対応
- Valgrind の拡張サポート
 - 以下の追加ハードウェアプラットフォーム上で、メモリ解析ツールセット [Valgrind] を使用
 - ppc_e500mc nd 603e (fsl_p4080, qemu_ppc、その他多数)
 - arm_v7at2_vfp_neon、arm_v7at2

アドオン製品のインテグレーション

Wind River Simics 4.6

Wind River Simics のインテグレーションにより、ハードウェアの入手前でも、Wind River Linux 上でプロジェクトの開発をスタートできます。

- ハードウェアコストの低減、市場投入までの時間の短縮、効率の向上
 - Wind River Linux のワークフローに統合
 - 複雑な組込システムの開発、デバッグ、テストをホストマシン上で行うことが可能
 - ターゲットの忠実なシミュレーションを正確に作成
 - シミュレーションの状態を凍結、保存することが可能
 - Wind River Simics 仮想ターゲットを、Wind River Workbench リモートシステムビューに表示

Wind River Linux Performance Studio for Intel Architecture

3つの強力なインテル開発ツールにより、インテルアーキテクチャ・プラットフォームを最大限に生かすように最適化されたコードを作成できます。

- パフォーマンスの向上、市場投入までの時間の短縮
 - インテル C/C++ コンパイラ、インテル インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ (インテル IPP)、インテル Vtune Amplifier XE を Wind River Linux 4.2 (およびそれ以降) に統合
 - デュアルコアおよびマルチコアアーキテクチャでのコンパイラのパフォーマンスを最適化
 - 帯域幅を大量に消費するアプリケーションのパフォーマンスを最適化する、数千のアルゴリズムを用意: ビデオ/オーディオのストリーミング、信号/データ処理など
 - Vtune を Wind River Workbench に統合: アプリケーションパフォーマンスの解析が容易に

インテルデータプレーン開発キット

マルチコア CPU での高性能パケット処理が可能になりました。

- 高帯域幅アプリケーションのスループットを向上
 - 効率的なメモリ管理とパケット処理のための API、最適化されたポーリングモードドライバ、I/O ボトルネックの解消をサポート
 - x86 アーキテクチャのフルサポート
 - その他のハードウェアプラットフォーム向けのオープンソースのインテルデータプレーン開発キット (DPDK) の実装を、ウインドリバープロフェッショナルサービスから提供

インテルプロセッサの最適化

一部のインテルプロセッサを対象に、ハードウェア管理のための最適化を搭載しました。

- 最新のインテルアーキテクチャ・プラットフォームを最大限に活用
- エラーの発見、管理、修正により、パフォーマンスを向上
- ACPI プラットフォームのエラーインタフェースを利用した、パワーマネジメントの最適化

ウインドリバーは組み込みソフトウェアとモバイルソフトウェアのリーディングカンパニーです。企業がデバイスソフトウェアを、より早く高品質かつ低コスト、かつ高信頼性で開発、運用、管理することを可能にします。

WIND RIVER ウインドリバー株式会社

東京本社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー
TEL.03-5778-6001 (代表)

大阪営業所
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-5-25 新大阪ドイビル
TEL.06-6100-5760 (代表)

www.windriver.co.jp

© 2012 Wind River Systems, Inc. Wind River、および VxWorks は、Wind River Systems, Inc. の登録商標です。記載されているその他の商標は、各所有者に帰属します。
詳細: www.windriver.com/company/terms/trademark.html Rev.06/2011

■販売代理店